

保険商品・サービスの提供等の在り方に関するワーキング・グループ

外国損害保険協会(FNLIA)

目的

1. 消費者のニーズに応える能力の向上
2. 募集及び商品説明の手順の向上

商品の開発及び認可

- ・ 保険会社が、変化する需要に応え、市場に更なるソリューションを提供することを可能にする、商品認可手続きの向上
- ・ 料率をより弾力化し、市場の新たな部分により良い料率を提供することを可能にする、料率算出方法及び料率算出要素の近代化

募集規制

- ・ 保険代理店が、消費者・企業により広い選択を提供する機会と適切な保険プログラムを提供できるよう、現行の乗合手続きを廃止する。
- ・ 他の市場におけるように、次の顧客の代理人としての役割を果たせるよう、保険仲立人の規制を改正する。
 - 保険料の收受
 - 保険契約の執行及び終了
 - 保険証券の発行

規制及び産業政策

- ・ 衡平な競争条件（危険準備金）
- ・ 消費税（負担の適正な料率への転嫁）

(参 考)

(1) 損害保険販売の概要

- ・ 販売チャンネル

(単位:百万円)

代理店		保険仲立人		直扱		合計	
保険料	割合	保険料	割合	保険料	割合	保険料	割合
75,324	92.1%	332	0.4%	6,160	7.5%	81,817	100.0%

(日本損害保険協会の資料から作成)

・ 損害保険代理店の概要

	代理店		募集従事者	
	(店)	割合	(人)	割合
専業代理店	33,840	16.7%	327,776	15.1%
自動車関連業	100,615	49.8%	596,409	27.4%
金融業	1,858	0.9%	659,800	30.3%
金融業のうち銀行等	(1,177)	(0.6)	(475,407)	(21.8)
その他の兼業代理店	657,85	32.6%	589,615	27.2%
合計	202,098	100.0%	2,173,600	100.0%

(日本損害保険協会の資料から作成)

・ 専属、乗合別

専属	154,513 店	76.5%
乗合	47,585 店	23.5%
合計	202,098 店	100.0%

(日本損害保険協会の資料から作成)

・ 保険仲立人(保険ブローカー): 35 社

・ 来店型保険ショップの例

ブランド	保険市場	ほけんの窓口、みんなの保険プラザ、ほけんの専門店	保険クリニック	みつばち保険ファーム
運営会社	株式会社アドバンスクリエイト	ほけんの窓口グループ株式会社	株式会社アイリックコーポレーション	株式会社 VL フィナンシャル・パートナーズ
代理店手数料	6,877 百万円			
店舗数	直営 25 店、協力 365 店	264 店	直営 12 店	130 店以上
保険会社数	63 社	生保 18 社、損保 16 社	生保 21 社、損保 9 社	生保 19 社、損保 13 社、少短 2 社
	・JASDAQ 上場 ・Agency Captive			

(各社のホームページ等から作成)

(2) 現行監督制度の特徴

- ・ 保険代理店 保険会社が、所属保険代理店の指導・監督を行う(行政は、保険会社を通じて保険代理店を間接的に監督)。
- ・ 所属保険会社は、保険募集人が保険募集について保険契約者に加えた損害を賠償する責任を負う。
- ・ 保険仲立人 行政が直接監督(業務報告、立入検査、報告徴求)